



出張報告届

令和8年3月30日

吹田市議会議長様

会派名 立憲民主党
代表者氏名 西岡 友和
出張者氏名 西岡 友和

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	石川県文教会館 〒920-0918 石川県金沢市尾山町10番5号
期間	令和8年3月23日から3月23日まで1日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	・ 3/23 (月) 10:00~12:30 伊関講師 自治体病院と地方財政の基礎 ・ 3/23 (月) 13:30~16:00 伊関講師 参加自治体病院の現状把握

～「自治体病院と地方財政の基礎」「参加自治体病院の現状把握」～

令和8年3月23日

西岡 友和

伊関講師は埼玉県庁での行政実務を経て、行政学・地方自治論を専門とする研究者として自治体病院政策の第一人者であり、総務省の調査研究会委員など国・自治体の多くの委員を歴任している。理論と現場実務の双方に精通した講師による本研修は、自治体病院の在り方を議員の視点から改めて考える上で極めて有益な機会となった。

「自治体病院と地方財政の基礎」では、自治体病院の制度的位置づけと地方財政との関係について、基礎から体系的に学ぶ機会を得た。伊関講師はまず、自治体病院とは何かという根本的な問いから講義を始め、民間病院との違いや、公立病院として地域医療を担うことの意義と責務について整理した。自治体病院は、採算の合わない医療・不採算地域の医療・高度医療・政策医療を担う機関として位置づけられており、その赤字体質を単純に「経営の失敗」として捉えることは適切ではないという指摘は、議員として自治体病院の決算審査に臨む際の視座を根本から問い直すものであった。

地方財政との関係については、病院事業会計と一般会計の繰出し構造が詳しく解説された。自治体病院の運営には、不採算部門への補填・企業債の元利償還・救急医療の確保など、制度上認められた範囲で一般会計からの繰出しが行われており、その適否を議会が判断するためには、総務省が示す繰出し基準の内容を正確に理解しておく必要があるとされた。吹田市立病院の財政運営を議会として検証する上で、即座に実践に活かせる知識を得ることができた。

また、公立病院改革ガイドラインから地域医療構想、そして新公立病院改革プランへと続く国の政策の流れが整理された。病院の再編・統合・機能分化が国策として推進される中で、地域の実情を踏まえた議会としての主体的な議論と政策判断が求められるという指摘は重要であった。首長・執行部の提案をただ承認するのではなく、地域医療の将来像について議会が自ら調査・提言する姿勢を持つことが議員の責務であると改めて認識した。さらに、医師・看護師をはじめとする医療人材の確保が自治体病院経営の最重要課題の一つであることが示された。人口減少・少子高齢化の進行に伴い医療需要の構造が変化する中で、地域に必要な医療機能を維持するための人材確保策について、議会としても継続的に注視していく必要性を認識した。

「参加自治体病院の現状把握」では、研修参加者それぞれの自治体における病院の現状を持ち寄り、伊関講師の解説・コメントを交えながら、各地域の実態を相互に把握・分析

する実践的な形式で進められた。

各自治体の病院経営状況、医療機能の特徴、財政的課題などが共有される中で、全国の自治体病院が共通して直面している問題と、地域ごとの固有の課題の双方が浮き彫りになった。産科・小児科・救急といった不採算部門の維持問題、診療報酬改定の影響、コロナ禍後の経営回復状況、病院の建て替え・再整備にかかる財政負担など、多岐にわたる課題が論点として挙がり、自治体病院が置かれた厳しい現実を改めて確認した。

各病院の状況に対して具体的な分析と助言を示すとともに、「数字の背景にある構造を読む」ことの重要性を繰り返し強調した。経常収支比率・医業収支比率・病床利用率といった財務指標の読み方と、その背景にある診療体制・人員配置・地域の医療需要との関連性を理解することが、議員として執行部と実質的な政策議論を行うための前提であるとされた。

吹田市立病院については独法化されているが、本研修で得た視点から改めて現状を見直す契機となった。高度急性期病院としての機能維持、周辺自治体との医療連携、そして将来的な施設更新を見据えた財政計画について、議会としてより踏み込んだ議論を積み重ねていく必要性を強く感じた。全国の事例と比較しながら吹田市立病院の現状と課題を客観的に把握する視座を得られたことは、本研修の大きな成果であった。

講義を通じて、自治体病院の制度的・財政的な基礎知識と、全国の自治体病院が直面する現状を包括的に学ぶことができた。伊関講師の講義は、自治体病院を「コストセンター」としてのみ見る視点を超え、地域医療の守り手としての公立病院の意義を再確認させるとともに、議員として財政的視点から実質的な関与を行うための具体的な知識と手法を提示するものであった。

本研修で得た知見を、吹田市立病院に関する議会審議や決算審査など、のそれぞれの場面において着実に活かしていきたい。地域の住民医療を守るという議員としての責任を改めて認識するとともに、自治体病院の持続可能な経営と地域医療の充実に向けた議会からの参加が求められる。

以上